

平成 30 年度 第 2 回多摩市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日時 平成 30 年 8 月 8 日 (水) 18:30~19:30
- 2 場所 多摩市役所 301 会議室
- 3 出席者 大日向委員 (会長)、高岡委員 (副会長)、関岡委員、福島委員、岡添委員、島田委員、小畑委員、岸川委員、岩根委員、薄井委員、佐藤委員、櫻田委員、永山委員
※欠席者：麻生委員、安藤委員

1 開会

- 会長 平成 30 年度第 2 回多摩市子ども・子育て会議をはじめます。本日の出席者を確認させていただきます。
- 事務局 本日、15 名中 13 名の出席となっており会議は成立いたします。
本日台風接近のため、天候が悪化する前に会議終了とさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
配布資料の確認をさせていただきます。
(配布資料の確認：審議資料 1、報告資料 1～3、参考資料 1～3、前回会議録)
- 会長 それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。

2 審議

【審議事項】

(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うニーズ調査・実態調査の実施について

- 会長 それでは、審議事項 1 について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (審議資料 1 の説明)
今後の予定としましては、子育て・若者支援推進本部、また本会議で頂いた意見について反映の適否を検討し、今月中旬に提示予定とされております国の手引きも踏まえ、修正の必要な箇所がある場合は修正を行った上で調査票を確定したいと考えております。調査票の内容についてご意見を頂きたいと思っておりますが、分量が多く設問ごとにお尋ねすることが難しいため、本日以降も 8 月 15 日 (水) までご意見を頂く期間を設けさせていただきます。会長からは事前に、回答者の属性に関する設問の位置や、設問が恣意的と捉えられたり、負のレッテル貼りを受け取られないような配慮、回答しにくい選択肢の改善などのご意見を頂いております。
- 会長 ご意見・ご質問はありますか。
- 委員 未就学児の調査票、問 17 について、子育て支援事業の利用状況について聞いていますが、地域子育て支援拠点の認知度や利用については記載がありません。前回の調査との整合性を図るために入れることが出来ないなどの事情があるのかもしれませんが、たまっこ、児童館の 0 歳児の時間、幼児の時間、子育てセンター事業もある中で、7 つの地域子育て支援拠点の利用状況についても把握する必要があるのではないのでしょうか。
- 事務局 前回の調査票を踏襲している部分もあり、必要な項目が入っていないということも

考えられるので、項目については再度検討を行います。

○委員 一般的に、回答者本人の属性や学歴、居住地などは一番後ろに配置することが多いと考えます。また、答えやすい質問を前に配置し、枝分かれしていく質問は後ろに配置した方が回答しやすいのではないのでしょうか。

○事務局 会長からも属性に関する設問の位置についてご意見を頂いておりますので、検討させていただきたいと思います。

○委員 今回の対象人数で回答数はどのくらいになると見込んでいるのでしょうか。

○事務局 子ども・子育て支援に関するニーズ調査に関しましては前回も実施しておりまして、未就学児保護者調査で 51.4%、小学生 2・4 年生の保護者調査は学校に協力をお願いしていることもありまして 76.0%、中・高校生本人調査で 40.3%の回収率となっており、今回も同程度の数字となればと考えております。若者の意識・生活に関する調査、子どもの生活実態調査に関しましては今回初めて実施するものとなりますが、ひきこもりの状況把握やひとり親家庭の経済状態の実態把握などの答えにくい設問が含まれることもあり、明確な見込みを数値として示すことは難しいですが、30%程度は回答いただければ有り難いと考えています。

○委員 前回調査では小学生保護者調査に関して、小学校に協力をお願いしているとのことでしたが、未就学児保護者調査は幼稚園、認定こども園、保育園に協力をお願いしたのでしょうか。

○事務局 未就学児保護者調査に関しては、住民基本台帳から無作為抽出させていただき、郵送で調査を実施しております。

○会長 ランダムサンプリングで調査を行った場合、大体 30% くらいの回答率となることが多いようです。前回の 51.4% というのは、比較的高い数値であると思います。調査票案に関しては、8 月 15 日まで意見を受け付けるとのことですので、他にご意見等がなければ報告事項に移らせていただきます。

3 報告

【報告事項】

(1) エリア別認可保育施設入所保留者・待機児童数・空き状況について

(2) 認可保育所等の入所児童指数の公表について

(3) 幼稚園の入園状況について

○会長 次に、報告事項について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料 1～3 の説明)

○委員 報告資料 1 に関して、育児休業取得者は復職に関する確認が出来る場合には待機児童数に含めることになったとのお話がありましたが、復職予定が確定している方ということでしょうか。

○事務局 育児休業を取得している方のうち、休業明けに復帰する意思があるということで、その意思確認が取れた場合に待機児童数に含めるということになります。

○委員 報告資料 2 について、認可保育所等の一次入所の指数を公開していくことは、私の周辺でも公開を望む声があったので喜ばしいことと思いますが、どのように公開するのでしょうか。

○事務局 公開方法については、これまでも電話でご質問をいただくことが多く、まずは電話や窓口での公開を行いたいと考えております。ホームページでの公開につきましては、検討してまいります。

○委員 報告資料1について、駅周辺に待機児童数が多いことは想像した通りですが、幼児教育の無償化もあるので、どのように今後見通しを立てていくのが難しいと思います。保護者にとっては駅周辺の預けやすい場所がよいと思うのは当然で、しかしその一方、多くの施設は駅周辺にはないので、保護者の意識と適正な配置が多摩市の大きな課題と感じました。

○委員 報告資料2について、指数はその年度によってかなり違うのではないかと思います。前年度だけを公表しても、保護者の判断材料としては足りないと感じます。前年度だけではなく、もう少し前から記載があれば傾向が把握しやすいと思います。また、指数が低い場合だけではなく、とても高い指数である場合にもプライバシーに配慮が必要となるのではないのでしょうか。空き状況も同じ資料内に記載していただくことさらにわかりやすい表になると思います。

○委員 報告資料3の幼稚園の入園状況に関連して、市としては今後幼稚園の入園者を増やしていきたいのか、他市から呼び込むことも検討されているのか、園同士で幼児を取り合うことになると考えているのか、どのような見通しを立てているのでしょうか。

○事務局 まずは今まで公開していなかった入園状況を公開し、状況を皆様に知っていただくということが今回の資料の目的となります。現在多摩市では、保育園だけでなく幼稚園も含めて、市全体で待機児童対策に取り組んでおります。その一環として、「幼稚園へ行こうキャンペーン」と題し、幼稚園を今よりも活用していただくために周知活動を行っており、その方向性は今後も変わらず続けていきたいと考えております。また、他市の子どもを呼び込むかという点に関しましては、まずは市内の子どもたちについて取り組むべきであると認識しております。

○委員 先ほどの、育児休業取得中の復職に関する確認については、本人に復職の意思がある場合との説明がありましたが、保育園の入所申請の他に、何か別の方法で意思を確認しているのでしょうか。

○事務局 本来は個別に意思を確認すべきところではありますが、育児休業取得中の保護者に対して確実に意思を確認することが難しい状況もあり、多摩市では育児休業取得中の方は基本的に待機児童に含むこととしています。

○委員 今後認定こども園への移行を予定している園はあるのでしょうか。

○事務局 移行を検討している園はございます。

4 その他

○会長 最後に、その他ですが、事務局からお願いいたします。

○事務局 次回の日程についてですが、平成30年11月6日(火)18時30分から、市役所301会議室での開催とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

○会長 それでは、本日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

以上